

ブータンのあそび歌ツァンモ
—学校教育における継承の取り組み その2

Tsangmo, Playful singing dialogues of Bhutan: Inheritance activities
in school education (2)

伊野義博, 黒田清子, 加藤富美子, 権藤敦子, 山本幸正,
ツェワン・タシ, ペマ・ウォンチュク

Ino Yoshihiro¹, Kuroda Kiyoko², Kato Tomiko³, Gondo Atsuko⁴,
Yamamoto Yukimasa⁵, Tshewang Tashi⁶, Pema Wangchuk⁷

In the last article, we introduced and discussed the inheritance activities of the playful singing dialogue, *Tsangmo*, at the Samtengang Central School in Bhutan. We now continue the discussion, describing the details of a *Tsangmo* competition in which Kelki Higher Secondary School competed against Thinleygang (Dechentsemo) Central School. The competition was held in the capital city, Thimphu, in September 2016. The study indicated the following:

- ・ This *Tsangmo* competition was an important school event that included an opening ceremony, welcoming dances for the guests, the presence of external judges, and the granting of prizes and awards. This important event was realized through a network of external cultural instructors, researchers, and educators.
- ・ The chairman leading the *Tsangmo* dialogue plays a significant role. He not only leads the event, but also explains the meaning of the lyrics in a captivating manner and makes jokes about the singers to make the exchange more energetic. Additionally, he explains how the performers and their performances are judged and advises singers on ways to improve.
- ・ The role of the chairman was not created specifically for school competitions. His role evolved naturally from the behavior of audiences enjoying the playfulness of *Tsangmo* in the local community.
- ・ The performances are judged by the richness of singing and expression, the skill of replies, varied use of melody, improvisation, and pronunciation. It is not only the performers' musical skills, but also their expression, creativity, linguistic capabilities and so forth which are generally assessed.
- ・ Behind the success of the *Tsangmo* competition is a sense of danger in Bhutan regarding the transmission of traditional culture. The strong passion of one teacher, the principal's leadership, and the school's cooperative structure has uncovered and awakened local culture, and brought out the cultural capabilities running deep inside school pupils.

2016.10.24 受理

¹ 新潟大学教育学部

² 東京福祉大学

³ 東京音楽大学音楽学部

⁴ 広島大学大学院教育学研究科

⁵ 国立音楽大学音楽学部

⁶ パロ教育大学

⁷ ツァーガイド (フリーランス)

1. はじめに

伝統文化が色濃く残るブータンにおいても、近代化現代化の波の中、その継承はきわめて困難な状況にある。特に首都ティンブーでは、その動きが急速化しており、本稿で対象とする伝統的なあそび歌ツァンモ Tsangmo もその例外ではない。

ツァンモは、ブータンの伝統的なあそび歌であり、ブータン各地に見られる。6音節1行、計4行24音節の歌詞を一定の節にのせて歌い合う（伊野2012）。歌の形式は、二人或いは二組に分かれて掛け合いで競い合うもの、一人が歌いながら参加者の持ち物を木の枝で指し、対象者の予言や占いをするもの、ペアの相性を占うものなど様々である（伊野他2014b）。歌詞の内容は、ブータン人の習慣、宗教、自然観、人間観あふれるものである。ツァンモは日常生活の中で、親戚が集まる祭りや法要、あるいは、放牧時に楽しまれてきた。

Choe ni jhamtshoo la faka	あなたは海の向こう
Nga ni jhamtshoo la tsuka	私は海のこちら側
Lay dang mi lam yoe na	もし運命があるのなら
Jhamtshoo bu lu zom sho	海の真ん中で会いましょう

ツァンモは、古都プナカ Punakha のドムチェ Dromche とした祭りにおいて、11の村の対抗合戦の形で現在でも行われていたりする（伊野、黒田2014a）。しかし、ここ数十年の間で、生活の中で昔ながらのツァンモをする姿は急速に消えつつある。例えば、これまでの調査では、インフォーマントが最後にツァンモで遊んだ時期は、20年～50年前という答えが返ってきている（伊野、黒田2014a、伊野他2014b、伊野他2015b）。ツァンモによる遊びの激減の要因は、産業構造の変化や学校制度の確立などである。ブータンの学校制度は、1960年代から急速に整えられたが、皮肉にもこのことにより、放牧の担い手である子どもがいなくなり、ツァンモの機会が失われてきた。当時の様子について、中央ブータンのトンサ Trongsang 県タンジジ Tangsibji 村では、「学校に行かせるのは、税金を払うようなものだった。親にしてみれば子どもが刑務所に入っているようなもので、そこから出して羊の世話をさせたものだ」といった話が聞かれた（伊野他2014b）。

他方、ツァンモはブータン文化の中に形を変えて根強く息づいてもいる。それを支えている要因はいくつかあるが、一つは、テレビやラジオをはじめとするメディアの働きかけである。ブータンでは、国営放送 Bhutan Broadcasting Service Corporation やクズ・ラジオ放送局 Kuzoo FM などにより定期的なツァンモの放送が行われている。そこでは、全国から電話によるツァンモの参加があり、さかんに歌の交換がなされている（榎藤他2015, 2016）。今一つは、学校の教育活動である。ツァンモは主として国語のゾンカ Dzongkha で歌われるので、ゾンカの授業において扱われることも多いが、それとともに校内のツァンモ大会も開催される。この学校でのツァンモ大会について、前稿（伊野他2016）では、ウォンティボダン Wangdue Phodrang Dzongkhag 県ニシヨグ Nyishog 地区のサムテガン・セントラル・スクール Samtengang Central School の様子を紹介し、考察をした。本稿はこれに続くもので、ケルキ高等中学校 Kelki Higher Secondary School（以下ケルキ校）とティンレガン中央学校 Thinleygang (Dechentsemo) Central School（以下ティンレガン校）との大会の内容である。前稿と合わせて、学校教育ではツァンモ継承の取り組みをどのように行っているのか、ツァンモ大会を中心にその実際を紹介、記述する中で、その意義と課題について考察する。

2. 大会実施の経緯と学校概要

ケルキ校でのツァンモ大会実現までの経緯について説明する。ツァンモ大会は、ブータン各地の学校において開催されるという情報を得た筆者らは、2015年9月、サムテガン・セントラル・スクールを訪問し、大会取材した（伊野他2016）。その後、ティンブーにてやはり学校でツァンモ大会を実施する計画を立てているケルキ校のガワン・ナムゲル Ngawang Namgyel に出会う。学校の文化教育を担当しているガワンは、ツァンモの継承、学習の重要性に気付き、2015年に初めてのツァンモ大会を計画していた。数ヶ月後、彼はこの計画を実現させている。こうした動きに出会った筆者らは、学校間の大会を企画、二つの学校対抗による



図1 ツァンモ大会会場と出場した学校の位置 (作成: 黒田)

ツァンモ大会を提案し、会場をティンブーのケルキ校とすることで了承された。その後、サムテガン・セントラル・スクールのキンレイ・ヤングゾム Kinley Yangzom 校長が、ティンレガン校に赴任したため、大会はティンレガン校とケルキ校の間に行われることになり、2016年9月24日の実現に至っている(図1)。なお、このツァンモ大会は、翌25日に開催されたシンポジウムとともに、筆者の伊野が代表となる日本ブータン民俗音楽研究会 Japan Society for Bhutanese Music Studies の主催「ブータンの宝石ツァンモー—未来に文

化をつなぐ Bhutanese Treasure Tsangmo: Bridging Culture from the Past to the Future」による一連の事業の一部である。本事業は外務省より「日・ブータン外交関係樹立30周年記念事業」として認定された。

参加校の一つティンレガン校は、ティンブーとプナカを結ぶ幹線道路途中に位置する。数人の女子生徒が疾患を発生し、死亡したことにより、学校名をディチェンチェモ Dechentsemo から変更した。ツァンモ大会へは第10学年(高校1年生に相当)5名が代表として参加した。

ケルキ校(校長カルマ・ザンモ Karma Zangmo)は、ブータン初の私立学校で、王立人事委員会を引退したケルザン・ティンレイ Kelzang Thinley により1987年設立された伝統校である。1999年高等学校に昇格した。芸術と商業の専攻があり、700人以上の生徒が学ぶ。首都ティンブーの中心地に位置する。ツァンモ大会へは第11学年(高校2年生に相当)5名が代表として参加した。

3. ツァンモ大会

3.1 当日の進行

ケルキ校がセッティングした当日の進行は、表1の通りである。まず、①9時15分に11学年の生徒全員(11クラス約550人)が入場する。続いて、④主賓の入場となる。この日の主賓は教育大臣ノルブ・ウォンチュク Norbu Wangchuk であった。⑤次いで開会の儀式としてマーチャンセレモニー Machang Ceremony が執行される。ma はバター、chang は酒を意味する。これは、地面の神等にバターや酒を供え、会の開催、成功を祈るものである。

表1 当日の進行

①	9:15	生徒ホール入場
②	9:30	ゲストにお茶の提供
③	9:50	ゲストと審査員ホール入場
④	10:00	主賓ホール入場
⑤		マーチャンセレモニー(開会の儀式)
⑥		国家斉唱
⑦		校長歓迎の挨拶
⑧		日本側挨拶
⑨	11:10	ケルキ校による歓迎のダンス
⑩		大会参加者のステージ登壇
⑪		審査員及び主賓の紹介、審査員着座
⑫		アンカーマンからチェアマンへバトンタッチ
⑬		チェアマンによる説明
⑭	11:20	大会開始
⑮	12:20	大会終了
⑯		チェアマンからアンカーマンへバトンタッチ
⑰		審査員のプルバ・ティンレイとゲム・ツェリンによるロゼ
⑱		審査集計の間、ケルキ校の生徒によるダンス
⑲		アンカーマンによる結果報告
⑳		主賓及び日本側ゲストから賞状伝達
㉑		主賓スピーチ
㉒		生徒代表感謝の言葉
㉓	13:00	プログラム終了、昼食提供

その後、⑥国歌斉唱、⑦日本側挨拶、⑧歓迎の踊りといったセレモニーが続き、ようやく⑩大会参加者がステージに登壇する。なお、日本側挨拶では、20分間、これまでの調査の結果として各地のツァンモの紹介を行った。

⑪審査員及び主賓が紹介され、審査委員着座のち、⑫進行はチェアマン chairman に引き渡される。その後、チェアマンは、大会全体を主導していく。⑬チェアマンによる一言があり、⑭大会開始となる。⑮大会終了直後、番外として生徒側と審査員として招かれた俳優、コメディアン、歌手のプルバ・ティンレイ Phurba Thinley とゲム・ツェリン Gyem Tshering によるツァンモのやりとりがあった。生徒側から、2人それぞれにツァンモを投げかけ、応えるという趣向だった。次に⑯チェアマンからアンカーマン anchorman に進行がバトンタッチされる。

ここで、⑰プルバ・ティンレイとゲム・ツェリンによるロゼlozeyが行われた。その後、審査結果がでるまで、ステージ上では、⑱ケルキ校の生徒によるダンスが演じられた。

審査結果は、⑲アンカーマンにより発表される。今回の結果は、僅差でケルキ校の優勝となった。⑳優勝校及並びに準優勝校には、主賓及び日本側ゲストより賞状と賞金が授与される。なお、これに続き、参加生徒及び引率教師、並びに審査員・得点集計者に対して賞状(参加証明書)が授与される。その後、㉑主賓のスピーチ、㉒生徒代表感謝の言葉があり、㉓終了、昼食となった。



写真1 大会会場のケルキ校ホール

3.2 審査員

大会では、以下のようなアンカーマン、チェアマン、審査員、得点集計者といった人が重要な役割を果たしている。大会進行に欠かせないチェアマンとして王立舞踊団Royal Academy of Performing Arts (RAPA)の主任研究員であるクンザン・ドルジKunzang Dorjiが選ばれている。後述するが、この役は、ツァンモのやりとりを円滑にし、盛り上げるためのキー・パーソンである。審査員には、ゾンカ語の教師であるタシ、あるいは、ツァンモの熟達者として俳優、コメディアン、歌手のゲム・ツェリンとプルバ・ティンレイなどが選ばれている。また、得点集計者は、ケルキ校、ティンレガン校両校の教師が一名ずつ担当し、公正を期する配慮がなされている。

アンカーマン: ツェリン・ラ Tshering La (ケルキ校教師)

チェアマン: クンザン・ドルジ Kunzang Dorji (王立舞踊団主任研究員)

審査員: タシ Tashi (サムテガン・ミドル・セカンドラー・スクール)

審査員: トーリー Toaly (作詞家)

審査員: プルバ・ティンレイ Phurba Thinley (俳優, コメディアン, 歌手)

審査員: ゲム・ツェリン Gyem Tshering (俳優, コメディアン, 歌手)

得点集計者: ティンレイ・ウォンチュク Thinley Wangchuk (ティンレガン校)

得点集計者: サンゲイ Sangey (ケルキ校)

3.3 ツァンモ大会の状況

以上の準備、催しの後、ツァンモ大会が始まった。以下、チェアマンのコメント、舞台上の生徒の位置、ツァンモの実際を記す。なお、これ以降、ツァンモ大会の構成は、詩の性格による3つに分けられる。以下その3種の用語がしばしば登場するのであらかじめ解説しておく。

①ニェン・ルー (Nyen Lue 耳に心地よい歌。Niyen は、仲良くなる、耳に聴こえるいいこと、Lue は歌。)

②ダ・ルー (Dra Lue 喧嘩の歌。Dra は、喧嘩、敵。)

③ダニェン・バルマ (Dranyen Barma: ①②を混在させたもの。Barma は、真ん中の意。)

また、終盤のツァンモは、ミンチェキmentsikで終了するように意識されていた。ミンmenは祈り、tsikは言葉という意味で、相手の幸せを祈って終了する。

なお、ブータンの伝統音楽に詳しいパロ教育大学講師のツェワン・タシThewang Tashiによるとこの他にもトエ・ルー Toey Lue (ほめる歌)、チョ・ルー Cho Lue (悲しい歌)、ガ・ルー Gha Lue (幸せな歌)、メイ・ルー Mey Lue (侮辱の歌) などがあるという。

3.4 チェアマンによるコメント

今日の大会について(ステージの上の垂れ幕に「ケルキとティンレガンのツァンモ大会」と書かれている

ので) 私から説明する必要はありません。

ツァンモには、いくつかの典型的な旋律があることなど、今(日本の人から)説明があったとおりです。ブータン人は少し考えてみてください。特に生徒諸君、若い人たちは考えなければなりません。ブータン人は自分の伝統文化が豊かだと思っています。言語もたくさんあると周囲の人に説明しています。でも言っていることと、やっていることが本当に合っているか、私も立ち止まって考えなければならないと思いました。

例えばツァンモについて、昔から遊んでいるとか、どこの村にどういう歌い方があるとか、その位のことしか皆さんは知らないでしょう。自分たちより外国の、日本人の方が、ツァンモがどれくらい大切なかをわかっています。これから私たちは伝統文化について、行動を起こさなければなりません。仏教に関するチベットとの関係、伝統文化の重要性についてブータン人は再考してみる必要があります。また、政治家は、外国の人がブータンをより理解している、ということについてどう考えるか、自ら問う必要があります。

皆さん、ちょっと考えてみてください。チベットとブータンは、仏教や伝統的な文化について似ているところがあります。国境もつながっています。チベットの国はもう中国になってしまいました。何故でしょうか。私よりあなたたちのほうが知っているでしょう。何でこのことを言うのかというと、伝統文化がどれ程大切か、ということです。ツァンモは、チベットにもないし、インドにもない。世界中どこにもありません。ツァンモのあるところはどこか、ブータンだけです。ツァンモがどうやってできたのか、それはブータンの伝統文化から生まれたということです。ブータンの国のアイデンティティ、ゴgho(男性の民族衣装)やキラkira(女性の民族衣装)などの衣装、エマ・ダツイ emadatshi(唐辛子のチーズ煮)などの食、そういうものはすべてブータンの伝統文化です。ケルキの学校とティンレガンの学校では、この伝統文化の重要性を認識し、ツァンモ大会をすることになったのです。ツァンモがとても重要だと思い、日本側からのサポートがありました。それで、両校の間で、大会をやります。でも、自分の父を殺したとか、母を殺したいというように歌って喧嘩するというじゃないですよ。そういうことではないのです。今日たくさん生徒さんが見ています。皆ツァンモがどういうものかわかっています。特に、BBSからも取材があり、撮影しています。後でブータン全国に放送されますから、国民がこの大会を見るチャンスがあります。取材に来てくれたBBSに感謝します。

ツァンモの語源は二つあります。チベットに *tsangmo tsang ney yo yo, tsangmo lha dha dra song, gamba la lab tse, tsangmo trew la jur song* (ツァン村の女性たちは村から来たときはみな女神のようだったが、ゴンバラという峠(ゴンバ=僧院, ラ=峠)に着いたら高山病でサルのようになってしまった) という歌詞の歌があります。このツァンモの歌を根拠に、ブータン人は皆ツァンモがチベットからブータンにきたというふうに思い、またそのように説明しています。それは大きな間違いです。ツァンモは綴りもチベットとブータンでは違うし、遊び方も違います。チベットの場合、ツァンは村、モは女性のことです。でもブータンの場合、ツァンは枝、モが古いを意味します。自分の相手の人が自分のことを好きか嫌いかわいをやりながら昔、私たちの親たちが、遊んでいました。チベットだったら、ガウツァンガの綴り、ブータンだったら、ラツァタツァンガの綴り(図2,3を参照)、その発音が同じツァンになっているため皆が、両方も同じだと思っているのです。でもそれは絶対混同しないでください。

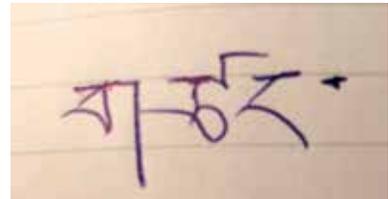


図2 ガウツァンガ

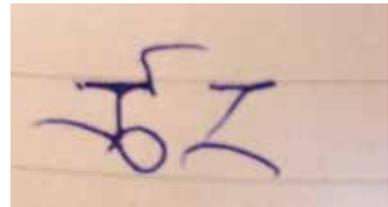


図3 ラツァタツァンガ

「ツァンモとロゼ(詩的な言葉のやりとり)はいつ頃からブータンにありましたか」と、外国の人もブータン人も、私の事務所に来ます。ブータンの伝統文化について質問します。でも返事は簡単です。仏教なら殆どの經典の冒頭に、最初はインドから、次はチベットから伝わったと書いてあります。仏教が入る以前からブータンにはオリジナルの文化、ツァンモとかロゼとか、カプシュー *khapshe*(東ブータンに伝承されるツァンモに類似した歌)があったのです。それを今まで私たちの親世代・祖父母世代、皆が大切に守ってきたのです。

私たちが今、GNH(Gross National Happiness 国民総幸福)のもとにとっても幸せに過ごすことができるのは、

私たち自身によるものではなく、すべて親の世代のおかげなのです。ブータンという国は、その豊かな伝統文化によって、世界中の人に知られるようになりました。ブータンの国を世界地図で探してみてください。あまりにも小さい。点（ドット）しかありません。ブータンの国は、料理のなかの塩のようなものです。だからこそ伝統文化を大切に、守らなければなりません。あなたたちは、今日このツァンモ大会に参加できてとても幸せです。特に素晴らしいことは、会場に教育大臣がいらっしゃることです。教育大臣も伝統文化の重要性を思い、今日ここにいらっしやいます。ご多用の中、ご出席いただいたことに対して心より感謝申し上げます。（拍手）

お話ばかりしていたら、皆さんつまらなくなりますね。審査員の皆さん、聞いてください。生徒を紹介しますから名前をしっかり覚えてください。⑩男（ティンレガン）、⑨女（ティンレガン）、⑧女（ティンレガン）、⑦男（ティンレガン）、⑥男（ティンレガン）（以上、ティンレガンの生徒、名前はここでは省略）⑤男（ケルキ）、④女（ケルキ）、③女（ケルキ）、②男（ケルキ）、①男（ケルキ）（以上、ケルキの生徒、名前はここでは省略）（番号は図4参照）。

すべてがうまくいくためには、ルールが必要です。ツァンモを歌う人は各チーム5人、大会は1時間です。審査員1人が生徒1人に50ポイント付すことができます（表2）。審査項目は、A. 歌い方やアイコンタクトなどの表現の豊かさ Tsangmo Jurtang, B. 相手に対してうまく応えているか Thay kar gi Len pho ni, 旋律も村によって違います。（先ほどの発表で紹介された）4種類だけでなく自分が知っている旋律があれば歌ってください。プラスポイントになります。4つ以外の自分の知っている旋律は間違いだと思わないでください。C. いろいろな旋律で歌えるか Sangyang ma drow, 同じ旋律のツァンモを続けないでください。また、相手も自分も同じ歌詞になるのは良くないです。D. 自分で考える。歌詞がすぐにつくれるかどうか Lo tsei. 声の大きさも気をつけてください。E. 発音 Nga shi, が審査項目です。あと歌う内容がダ・ルー Dra lue（喧嘩・敵対の歌）かニエン・ルー Niyen lue（耳に心地よい歌）か聴いてください、考えて歌わなければなりません。

表2 ツァンモ大会（2016年）審査項目（ゾンカ語の審査表より 黒田作成）

審査項目	A. 歌い方・表現の豊かさ Tsangmo Jurtang	B. 応答のうまさ Thay kar gi Len pho ni	C. 多様な旋律の使用 Dangyang mad raw	D. 即興性 Lo tsei	E. 発音 Nga shi
------	----------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------	-------------------	------------------

最後にベストスピーカーを選びます。一人で5回、ツァンモを歌わなければなりません。去年、（ケルキでツァンモ大会をやった時に）ツァンモが出てこなくて知っている友達に全部任せて、顔がアツアラ atsara（真っ赤な道化師の面）みたいになっている人がいました。人の代わりに歌ってはいけません。最初はニエン・ルーではじまります。しだいにダニエン・バルマ Dranyen barma（ダとニエンの間）とか、そういうふうになります。しかし、ニエン・ルーひとつかふたつやったら、ダニエン・バルマ二つだということに先に予測しないでください。私は1か月前から、何をどのように練習する必要があるのか全部知らせましたね。私がダ・ルーをやってくださいと言ったらダ・ルーをしなければなりません。ダニエン・バルマをやってくださいといったら、ただちにそれができるように考えてください。最後のツァンモは祈りのツァンモ（ミンツェキ）になります。今回もツァンモ大会があつてよかった、またよろしく願います、というような内容を最後にやってください。

OK, 皆準備できましたか、はじめます。最初に誰が歌うか決めましょう。私の手に一つチョコが入っています、入っているほうから始めます。（⑤と⑩が選ぶ）⑩になりました。（拍手）

審査員の人は確認してください。最初はニエン・ルーで初めます。しっかり手振りでの表現やアイコンタクトなど、すべてうまくやってください。はいはじめて、1, 2, 3。

3.5 生徒の位置

ステージに向かって右側にティンレガン、左側にケルキの生徒たちが座る。真ん中にチェアマンであるクンザンが座る。

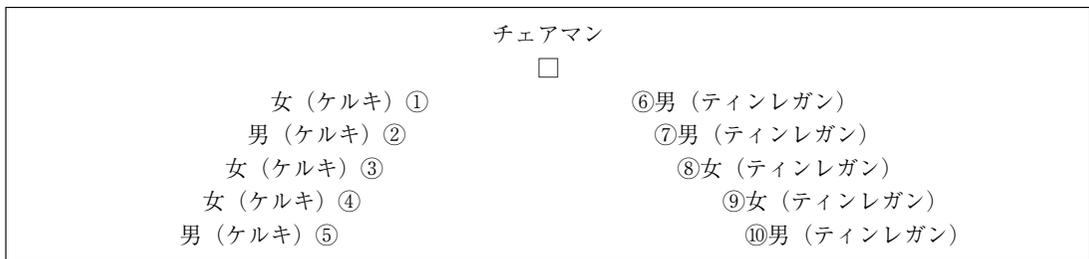


図4 ステージ上の生徒の位置

3.6 実際

チェアマンのコメントと実際に歌われた歌詞を順番に記す。歌のやりとりは、全部で5ラウンド、合計50回となっている。歌い手は、図4に対応した丸数字で示してある。旋律の種類は、A, B, C, Dで表記している。3.7で詳述するが、旋律A, B, Cは前回のサムテガン・セントラル・スクールでの報告に対応する（伊野ほか2016:118）。旋律Dは、今回初めて聴かれたものであった。



写真2・3 大会の様子（向かって左側にケルキ校、右側にティンレガン校が位置する。中央に座っているのがチェアマンで、その後ろには、王様家族の写真が大きく掲げられている。左写真:ケルキ校がティンレガン校に歌いかけている。右写真:ティンレガン校がケルキ校に歌いかけている。）

1回目・⑩男(ティンレガン)・旋律B

Gangkha tse ley bab pi	山から流れてくる
Chumo kechu nimo	ケチュ・ニモという川（川＝あなた）
Lhasa jo gi kundun	ラサのお寺のジョというお釈迦様の
Yong chap len chi phi gey	お供え物に（その水を）備えたいです（Yong chap = 7つの水の供え物）

クンザン:ケルキの番です。①さん、あなたはお供え物になりますか、なりませんか。

2回目・①女(ケルキ)・旋律A

Thowe gang ley la bab bi	高い山から流れてきた
Cho mo wo dra ya nga ya	川の音は大きな音です（wo dra=大きな水音）
Ley dang milam yoe na	それがもし私と縁があったら
Choe sham dinla zom sho	仏間の中で会いましょう

クンザン:⑨さん、あなたも仏間に行きますか。返事をしてください。

3回目・⑨女(ティンレガン)・旋律A

Choe ni etho la metho	あなたはしゃくなげの花
-----------------------	-------------

Nga ni sersho la metho 私は黄色の花
Choe sham thramo ye na lu 仏間の中で
Chi kha zom bi re wa そこで会おうと私は思ってます

クンザン:②さん, あなた, 会いますか, 会いませんか。(会場に笑いが起こる)

4回目・②男(ケルキ)・旋律B

Ku tse kar sa dwa ものすごく白いお月様
Sungkey tsa we nimo すごくいい声の
Thuje tse we lha mo すごくやさしい女の人(地面の中のきれいな女神)
Lue gi nidrup zhu ge y その宝石(のように美しいもの)を私に下さい

クンザン:彼からみるとあなたムヤンチェンマ(楽器を抱く女神)に似てるよ。あなたは宝石をあげますか。

5回目・⑧女(ティンレガン)・旋律B

Choe ni lab tsa yer kor あなたはラブツァ(lab tsa 峠の上に積まれた石)の右側
Nga ni lab tsa yuenkor 私はラブツァの左側
Ley da milam yoe na もしご縁があったら
Labtsa bulu zom sho ラブツァの真ん中で会いましょう。

クンザン:ラブツァカという村があるけど, 彼女から見るとあなたは, ラブツァカの出身に見えたよ, ③さん, あなたはどこの出身ですか, ラブツァカ村じゃないですか。(笑い)

6回目・③女(ケルキ)・旋律B

Choe ni sergi serbu あなたは黄色の金
Nga ni yuechu drugar 私はトルコ石
Ley da milam yoe na もしご縁があったら
Zom ge y yoe na zom 一つの部屋で会いましょう

クンザン:⑦, あなたがお月様のように見えるから(Dawa=月, ⑦の名前), 彼女も我慢できません。(笑い)
生徒⑦:チャンスをくれてありがとうございます。一つ折りのツァンモやります。

7回目a・⑦男(ティンレガン)・旋律A

Chen ri zigi la nin je y 観音様のやさしさと
Jam bey yang gi la sherap 文殊菩薩の知識
生徒⑦:(2行で止まったので)間違えました, もう一回やります(しかし, なかなか歌えない)
クンザン:違うのをやっていますよ。

7回目b・⑦男(ティンレガン)・旋律A

Cheni ser gi la bum pa あなたは金でつくったブンパ(bum pa 孔雀の羽の入った金の入れ物, 仏具)
Nga ni maja gi dong dru 私は孔雀の羽
Ley dha mi lam yoe na もしご縁があったら
Choe sham tramo zom sho 仏間で会いましょう

クンザン:④さん, 仏間に行きますか。(笑い)

8回目・④女(ケルキ)・旋律A

Karyul karsang la chi lu	白いお椀があります
Remo trashi la dagey	そこに七つの吉祥紋
Karyul chana mato	お椀が割れても
Remo yel sa mindu	模様は消えないでほしい

クンザン: オッケー、お椀が割れても模様は変わらない、⑥さん、あなたが変わっても彼女は変わらないよと言ってますよ。(笑い)

9回目・⑥男 (ティンレガン)・旋律B

Denchu khaga dru zhi	四角の (小さな) 座布団
Doe na rang ya ma shom	自分にも足りない
Gana choe yang lo sho	好きならば
Nga da choe bey doe gey	私とあなたで座りましょう

クンザン: あなたたち皆、生徒ですし、ずっととニエン・ルーやっていたら終わりません。ですから、⑤さん、もうちょっと、けしかけてください。ダニエン・バルマでやってください。相手が嫌いだったら、そのように言ってください。(笑い)

10回目・⑤男 (ケルキ)・旋律B

Choe sham thrami nang lu	きれいな仏間の中で
Ser gi jaling cha chi	金のジャリン (チャルメラ系の管楽器) が二つ
Nyen ku la bai tsu tse	手で旋律つくると (指であそびをつけて演奏すると)
Sung key ga wa henbey	すごくいい音ができますよ (あなたはそれができますか?)

クンザン: ジャリンはとてもいい音が出ますが、そのためにはきれいな手の動き方が必要です。⑩さん、あなたにそれができるのかどうか聞いていますよ。ダニエン・バルマで。(笑い)

11回目・⑩男 (ティンレガン)・旋律B

Lhasa gosa thoew ley	ラサの町の中
Sha chi ngo go sam ba	肉を買おうと思ったけど
Sha la tsi lu mi nu	いい肉がない
Go la ham pa tho song	値段が高すぎます

クンザン: ものがよくないですね。値段が高すぎです。①、あなたは値段が高くなりましたか、審査員の皆さん、2ラウンド目の始まりです。

12回目・①女 (ケルキ)・旋律D

Juthop mipi changka sa khorey	財産も何もない貧乏な人よ
Rewa yoe ru mi top sa khorey	なにか欲しくても何ももらえないでしょう
Tiru choe lu mi basa sa khorey	あなた金をもっていないのに
Tsi lu ga ley thoba sa khorey	いい肉をどうやって買いますか (買えないでしょう)

(会場の生徒たち「フォー！」などと歓声をあげて盛り上がる。)

クンザン: 私はダニエン・バルマでと言いましたが、もうダ・ルーになりましたね。返事もダ・ルーを歌って下さい。

13回目・⑨女 (ティンレガン)・旋律A

Lhasa throm ley la ngo we	ラサの町で買った
Giri domo chop gey	長い刀
Na ni michi se ye	去年一人殺しました
Due chu se kha phop do	今年もその時間になりましたよ

クンザン:この人去年人を殺しました。あなた気を付けて。

14回目・②男 (ケルキ)・旋律C

Zhong zhong ma gi zhong ru mo ya	バターのようになでられても (なだめてくれても)
Mi to zurgi mi ta mo ya	ちらっとでもみたくない
Zob zob om gi zob ru mo ya	ミルクにゾブゾブと浸されても
Kham to chi ya mi za mo ya	私は (そのお菓子を) 一口も食べない (あなたに興味ないです)

(会場, 再び「ワー!」などの歓声があがる。)

クンザン:ミルクとまぜてあげても一口も食べないと言ってますよ。さっきあなたを女神さまのように言っていたのに (4回目のツァンモのこと), 今は全然違うね。

15回目・⑧女 (ティンレガン)・旋律A

Tepjey na mi ta wo ley	真っ黒なテプジュナミという鳥
Ku sha choe ra la kar song	それよりあなたのほうが白いです (=あなたは黒いです)
Chip chip beb bi wo ley	チプチプという蛙が水の中で歩く音より
Ku zhu choe ra thung bey	あなたの背は低いです

クンザン:③さん, 私たちはあなたの身長が高く見えるけど, 今聞くと違うね。ちゃんと説明して。

16回目・③女 (ケルキ)・旋律D

Shing ley cho chi cho ni sa khorey	シンという種類の木の中でよくない木がたくさんある
Choga shing ra cho we sa khorey	チョガ・シンという木が一番よくない
Mi ley cho chi cho ni sa khorey	人の中でも良くない悪い人がいる
Men chu cho ra cho we ra khorey	たくさんの人の中であなたが一番よくない

(会場, 4行目に入ると「フォー!」などの歓声があがる。)

クンザン:⑦さん, ③さんにはあなたはお月様に見えると言いましたが (6・7回目の間のコメント), 今は全然違いますね。あなたより悪い人はないと言っているよ。自分がそんなに悪くないところを見せてください。

17回目・⑦男 (ティンレガン)・旋律A

Hom ma yoe pi la wang chu	汚れた (ティンプーの) 川 (=ケルキの生徒)
Wo dra dey ra la ma che	ウダ (擬音語) といううるさい音をさせないで
Puna pho chu mo chu	プナカの父川と母川 (=ティンレガンの生徒)
Wo dra ga dey chapni	全然うるさくなりません

18回目・④女 (ケルキ)・旋律D

Pey ga ser bi me tho sa khorey	黄色の菜の花 (=あなた)
Secha dey ra ma tang sa khorey	そんなに黄色を見せないでください (=うるさくしないで)

Nak bi cho ru yoo da sa khorey 実が黒くなる時に
Tok tok hew dha chew sa khorey ヘウ（という道具で餅のように）でトクトク突いちゃうわよ

19回目・⑥男（ティンレガン）・旋律B

Pey ka ser bi metho 黄色の菜の花
Kana ja sha tong sha 広い所全部に咲いてる
Labi bu lu hew tse 手のひらの中に集めると
Pari gang yang mindu 手の中の分ほどしかない

クンザン:⑤さん、ちょっと立ってみて。あなたここに入るくらいしかないんだね。

20回目・⑤男（ケルキ）・旋律D

Ja ja pa ta bom ru sa khorey ナイフの幅がどんなに広くても
Shing che ta ri dap go sa khorey 大きい木は斧で切らなければならない
Ngagey rochi che ru sa khorey 自分は何でも一番だと思って（吠えてる）犬
Ja key gili sung go sa khorey 家の中のジャ・ケイ（食べ物）は猫が守っていますよ

（会場「フォー！」と大きな歓声があがる。）

クンザン:今のやり方では、誰が負けるかわかりません。比べるのは難しいので、どの点数をマイナスするかなかなか言えません。あーあーうーうーと考えながら言ってる人からマイナスしてください。マイナスするのは難しいです。審査員の皆さん、そういうところ気を付けて下さい。⑩、審査項目にもあるように表情豊かに歌ってみてください。

21回目・⑩男（ティンレガン）・旋律D

Go lam ja gi kepa sa khorey 奥の岩の間に
Kue ney mi pi lhakhag du khorey 管理人のいない寺（ラカン）がありました
Ja lam dra bi kha bi tse khorey 道が通れなくなっても
Kue ney mi pi lhakhag in mey khorey 管理人がいないままになりますよ

クンザン:⑩さん、あなたの発音がちょっとよくないです。良くしてください。さっきも間違いがたくさんありましたよ。

22回目・①女（ケルキ）・旋律D

Menchu nge gi jawa sa khorey 女の人よ 私の性格は
Choe gi shera mitsup sa khorey あなたが絶対知ることできませんよ
Kepsu ta bi tasha sa khorey 儲かりたいなと思ってる男
Ro kha tsum di doe da sa khorey 死んだ人の悪い口 その口静かにしなさい

（会場「フォー！」「ワー！」という歓声と笑い声がおこる。）

23回目・⑨女（ティンレガン）・旋律B

Chu di kha ley oopa 湧き水の上澄みをとった
Hom ma ting ley long mey 下から汚れがでてきた（汚れ＝ダ・ルーの強い言葉をさす）
Hom ma long ru long ni 汚れがでてきても
Lhang jo mi pa long ni その水全部出してやる（全面的にけんかしましょう）

24回目・②男（ケルキ）・旋律D

Pang ga riga tse awa thang sa khorey	きれいな平らなところに全部うんちしてる
Throm sang tshang tse cha ni ko re khorey	きれいな街のところに全部ゴミすてている
Mi choe gi dong di due zum sa khorey	あなたのお顔が悪魔のよう
Nga ta gop ngo chi mindu sa khorey	私は見たくない

（②は歌いながらオーバーに身振り手振りをし、2行目で実際に紙をすてる、4行目のminduで会場は「フォー！」と大盛り上がりを見せた。）

クンザン：審査員の方々、うまくいってますか、チェックしてください。

25回目・⑧女（ティンレガン）・旋律Dのkhoreyなし

Ngo ri rang lu mi pa sa	自分の恰好がよくないのに
Zhen lu meya pa ma cha sa	人の悪口言わないで
Rang zhi rang gi mi thong sa	自分の恰好を自分は見えない
Zhen la thu la po sa khorey	あなたの恰好みたらあなた傷心しますよ

26回目・③女（ケルキ）・旋律D

Sha ley thidu shatu sa khorey	東の方から太陽が出てきても
Mi na gugu mi bey sa khorey	みな影にならないです
Ja ley lung ma phu ru sa khorey	北から風が強くて
Dophu jaem jem mi tang sa korey	大石は揺れません（あなたが何を言っても私は動じません）

27回目・⑦男（ティンレガン）・旋律A

Throm khai menchu la bumo	町の中の女の人们（ケルキの人をさしている）
Ley ni choe ra la ley bey	あなたたちはとてもきれい
Ley ru go mi mindu	きれいでもあなたたちを好きな人はいない
Tsi chi throm lu lu song	人生ずっと好きな人がいないまま終わります

クンザン：④さん、彼が何を言ったか聞いてましたか。

28回目・④女（ケルキ）・旋律D

Ma mi pi tsi pa kha tang bi sa khorey	バターが入ってないバターの入れ物にバターが入ってないと文句を言う
Zo ney pi mi di tam ga ye sa khorey	恰好悪い人から悪口しかでてこない
Kha oka zum mi na ley sa khorey	口は牛小屋の口から（牛小屋＝あなたの口）
Tam luey jo dey ma jo sa korey	肥料（牛のうんち）のような言葉しか出てこない

29回目・⑥男（ティンレガン）・旋律D

Ja chu kam rung kam gey sa khorey	川は夏暑すぎて水がなくなっても
Gunechu drey rung drey gey sa khorey	冬水がたくさんになっても
Chu mo bugi dophu disa khorey	大きい川の間にある石
Joe ju tsa ley mindu sa khorey	全然動きません

30回目・⑤男（ケルキ）・旋律B

Chang di dang pa thung ru	（最初）酒を飲んでも（酒＝あなたのツァンモ）
Ney bi drow ya mindu	古い酒は味もない
Ba ma kho ba lu ru	酒がどんどん腹に入っても

Lo pham sem pham mindu 何も感じない（楽しくもないし酔いもしない）

31回目・⑩ 男（ティンレガン）・旋律B

Gey boi pho dra na lu 此の宮殿の中で
 Ma dap lo sum kham bu 大きくなっていない桃
 Ma za zadri hu hu 食べる前からも（食べた後のような）すごい匂い
 Za tse ham dri hu hu 食べると腐った匂い

クンザン：①さん、あんたそんなにくさいのか。（会場「ファー！」と笑いがおこる。）

32回目・①女（ケルキ）・旋律C

Che they kuchu choe ya mo ya ひょうたんみたいに禿げたあなた
 Nam do dey ra ma chey mo ya 自信のあるふりをしないで
 Nam do dey ra chey na mo ya 自分は何でもできると見せる人
 Nga gi go ra mi go mo ya 私はいらぬ

クンザン：⑨さん、私たちから見るとあなた美人ですけど、①さんがひょうたんみたいって言ってるよ。

33回目・⑨女（ティンレガン）・旋律B

Chumo seka za chu きれいな水は
 Rang gi go kha zha di もう自分のところにある
 Om chu homo che che 汚れてる湧き水（=あなた）
 To chu gam bey key go どうしてごはんの水に必要なか

クンザン：あなた何言われたか聞きましたか、返事してください。

34回目・②男（ケルキ）・旋律D

Yue toepi sa gi mi sa khorey トエピサ（サムテガンの近くの村）村の人
 Choe toepa chap bi tsei chi yoe ru khorey 自分のことばかりほめてる
 Nga nyengo noe we sa ba mi sa khorey それを私は聞きたくない

クンザン：（3行目がぬけたので）えー？全部は言ってないでしょ、3行しかないよ。

35回目・⑧女（ティンレガン）・旋律A

Kaama madri la lham chu 自分の脚に合わない靴
 Gencha in ru la mingo どんないいものでもいらぬ
 Mi zhi mi pi la thasha 好きじゃない男
 Lha wa ley ru mingo 天国の人よりきれいでもいらぬ

クンザン：どんなきれいでもいらぬそうです。「あなたがいらなくても自分のことを好きになる人がいるよ」と返事してください。

36回目・③女（ケルキ）・旋律D

Shing chi ke wi du tse sa khorey 木が出てくるとき
 Sheyka dra lu ki nu sa khorey シェイカドラという岩から出てきた
 Shinchey choe ley lop da sa khorey そこからどんどん大きくなって（大きくなりすぎて）

Gam bey gumbey mindu sa khorey 自分がどうしていいわからなくなっている

37回目・⑦男 (ティンレガン)・旋律B

Ya ya ri sum tse lu 遠くの山のとっ辺に
Lhap sang tang go noe ru お香を燃やしたいと思った
Pey cha lung gi yap di 経典が風で飛ばされるから (お香を燃やす時に読む経典)
Tang tang drow ra mindu お香燃やせない

クンザン: あんたきましたか, そのあなたからお香の匂いじゃなくて, おならの匂いすると言ってたね (28回目のツァンモを指す)。

38回目・④女 (ケルキ)・旋律B

Phari pang gi lo la 遠くの平らなところに
Gung chi pub go sam ba テントを張りたいけど
Gung shi dha ma den chu はりがよくない
Pup go no era mindu たてられない

クンザン: ⑥さん, あなたテントをはることができますか。

生徒: できます。

クンザン: でも彼女はあなたにはできないと言ってるよ。できるならちゃんと返事して, できるところみせてください。

39回目・⑥男 (ティンレガン)・旋律D

Nang zu mipi choeten sa khorey 何も入っていない仏塔 (経典などが無い)
Kora nga gi mi dhap sa khorey まわりたくない
Dam tsi mipi minchu sa khorey すごく浮気する女,
Damkha nga gi michap sa khorey 私は絶対選びたくない

クンザン: (歌で女といったけど次に歌うのが男なので) 浮気する女はゴを着てる人でした。ゴを着てる女。

40回目・⑤男 (ケルキ)・旋律C

Karyu cha ru cha gey mo ya 白いお椀がわれて
Remo ye ru gey mo ya 模様は消えても
Zab chi hop gi zha ma mo ya 漆の椀の中には
Nyen shey ley gi kho wong mo ya 銀が残っている (プータンの漆椀の塗りには銀があるので)

クンザン: これで4回目が終わりました, 5回目のはじまります。ティンレガンからはじまります。⑩さん, ダニェン・バルマです。審査員, ダニェンバルマかどうかもみてください。(⑩少し考える)

41回目・⑩男 (ティンレガン)・旋律C

Pha gi pang gi bu ley mo ya 遠くのところ
Sha wa ra chu ri chu mo ya 鹿の角が短いと長いのも両方がある
Ra wa dendra mi ru mo ya 角が同じ長さでなくても
Mikpa ring thung ke di doe wong 蹄は同じ長さです (あなたが何を言っても私は変わりません)

クンザン: (審査員に対して) (41番目を歌う途中3行目を考えて詰まったので) 今, 新しく作ったのでそれ

で途中でつかえてしまいました。

42回目・①女（ケルキ）・旋律A

Tasha choe gi la ku zu	あなたのからだ
Metho pema la dra song	蓮華の花に似ている
Metho pha yu tsu yu	花が揺れてるから
Ser jam di kha mi kho	蜂がきません（ちゃんとしていないので好きになれない）

43回目・⑨女（ティンレガン）・旋律B

Gechu jashey ney nga	シルクの布 絹
Pue gi za ru za gey	見えない虫が食べてもいい
Khar dha dha gi due phi	縛ってある白い旗（カダ）
Lung gi yap rung yap gey	風でふられてもいいですよ

クンザン：（ダニエン・バルマにしたかったので）皆が何言ってもあなたのことだけしか考えてないですよ。そのように返事して下さい。

44回目・②男（ケルキ）・旋律C

Laphu dhama ley chang mo ya	大根の葉はとてもきれいに見えるけど
Tsa wa chechung ma shey mo ya	土の中の大根は大きい小さいかわからない
Jam bi shey ngo leychang mo ya	とてもきれいな女
Sam pa zang ni ma shey mo ya	やさしいかどうかわからない

45回目・⑧女（ティンレガン）・旋律A

Ta bu ri la they song	馬が山のほうにいつちゃった
Gapcha pang la lue song	ガプチャ（鞍などの馬具）は残ってる
Ta bu mi pi gapcha	馬がないがガプチャ
Sem gi thruel rung in bey	心が悲しい

クンザン：⑧さんあなた、さびしくならないでください。③さん、私がいるよと言ってください。ニエン・ルーをしてください。時間がない。（③、突然言われ、少し考える）

46回目・③女（ケルキ）・旋律B

Norbu ro ley thuen bi	宝石のような山
Sang shi pey ka sang shi	ペイガサンシ（という香木）からできてる
Dro ba sang shi tup bey	朝はお香にして燃やせる
Chiru thapshi tup bey	夜は（ごはんをつくる）まきに使える

47回目・⑦男（ティンレガン）・旋律C

Gang gi chukar meto mo ya	山のチュカルメトという花（chukar meto= せいたかだいおう）
Tencha gang lu mi sha mo ya	ずっと山にない
Tencha gang lu sha na mo ya	もしずっと山にあったとしたら（=あなたに会えたら）
Gang gi genga tubey mo ya	その山の飾りになれますよ（=うれしいです）

クンザン：（4行目最後の音程が下がったので）電池の中に水が入ってるみたいです。

48回目・④女（ケルキ）・旋律A

Choe ni pho chu la aye ley
 Nga ni mo chu la yuen ley
 Ley dha milam yoe na
 Dzung di tsa wa zom sho

あなたは父川の右のほう
 私は母川の左側（ブナカ・ゾンを挟み父川と母川が流れる）
 もしご縁があったら
 （ブナカの）ゾンの近くで会いましょう

クンザン：次はあなたです。

49回目・⑥男（ティンレガン）・旋律B

Trala shey pa sho chi
 Duechi sang pey mi pa
 Yang la chap pa shoe hi
 Druk gi tsawa sum lu

すべてうまくいってください
 今年も来年も
 いいことたくさんありますように
 ブータンの国の中で

クンザン：あなたもミンチェキで最後の祈りのツァンモで終わってください。

50回目・⑤男（ケルキ）・旋律B

Na zhen bu da bumo
 Drey wa drey sa mi pi
 Chudha nyamo zumbey
 Milam zang bu zhugey

若い男と女たち
 絶対離れたくないです
 川と魚のように（なるように）
 私が良いことを祈ります

クンザン：両方のチームがともうまくツァンモを歌いました。今点数を計算しています。その間に、ティンレガンの方から一つダ・ルーを出してください。審査員のゲム・ツェリンに歌い掛けてください。ケルキの方からもダ・ルーをひとつ、ブルバ・ティンレイに歌ってください。ティンレガンの方から始めます。相談して誰がやるか決めてください。⑧さん、すぐきついことを言ってゲム・ツェリンがショックで川に身を投げるくらいの歌ってください。

51回目・⑧女（ティンレガン）・旋律B

Tasha choegi zhey rey
 Poywe bab da drow
 Atsara gen kha
 Togop sam ba mi du

あなたの顔
 お面と変わらない
 アツアラの役を
 あなたやりませんか

クンザン：ゲムツェリン、ステージの下からでいいです。あなたの顔お面に似てるって。

ゲムツェリン：返事はニエン・ルーがいいですか。ダ・ルーがいいですか。ダ・ルーだったら子どもだからちょっとかわいそう。

クンザン：ダ・ルーをお願いします。

ゲムツェリン：ツァンモには、新しいのがたくさんあるけど、私は古いツァンモを一つ歌います。私もとても考えてます。空気が少なくなって足もふらふらしてます（さっきのツァンモがきつかった）。

番外編1・ゲムツェリン・旋律A

Nam la tring chi la min na
 Gey chey hop za la dra way
 Bum lu map chi min na
 Ri dha la chang chim dra way lo

空に雲がないと
 ゲイチェイ（青いシルクの布）に似ている
 女に旦那さんがいないと
 リダ・チャン・チム（一匹でいる野生の動物）に似ている

クンザン:今(生徒なので)旦那さんを探せる時じゃないですね。ケルキのほうからプルバティンレイに人生で一生活れられない、きついこと教えてください。⑤、過去について教えてください。

52回目・⑤男(ケルキ)・旋律C

Ngo ro rang lu mi bas a khorey
Pham lu jab jel ma zhu sa khorey
Yoenten ting lu mi bas a khorey
Khapshey na lu ma ju sa khorey

自分の過去が全然よくない(悪い)のを
親に文句言わないで(親のせいにしないで)
自分の知識が何もないのに
ここでいろんな話をしないで

クンザン:プルバティンレイはすごくかっこいい人だと思った。でもそうじゃないと言ってます。返事して。

番外編2・プルバティンレイ・旋律B

Goe chey ser bi thoe ko
Gengo sem lu yoe ba
Ga bi tsem khu na lu
Ki bi ney nga minhu lo

キラの上に着るトエコエ(ジャケット)シルクの布
着たいなと思っている
あなたのtsem khu 仕立てるとき中の
紐の種類がありませんよ

これでツァンモの大会は終わりですので、RAPA(王立舞踊団)のほうで研究した旋律をお願いします。(RAPA作成の5種類のツァンモのデモテープが流れる。)

3.7 旋律

歌われた旋律は、下記A,B,C,Dの4種類であった。3.6冒頭でも述べたように、A,B,Cは前回サムテガン・セントラル・スクールで聞いた旋律と同種で、それぞれ前稿(伊野他2016)に対応するが、Dは、新しく採取されたものである。

楽譜1:旋律A



楽譜2:旋律B



楽譜3:旋律C



楽譜4:旋律D



掛け合いの回数、歌った生徒、旋律の種類と歌の性格を一覧にまとめた(表3)。ここからも分かるように10回ずつ5ラウンド、全部で50回のやりとりがなされている。各チーム相互に歌うが、その順番は、⑩①⑨②⑧③⑦④⑥⑤となっている。

全体は、チェアマンのクンザン・ドルジのリードにより進められるが、その構成は、まず、ニエン・ルーから始まる。9回目を終了するとダニエン・バルマが指示される。2ラウンド目からは、ダ・ルーに移行、大会

表3 ケルキでのやりとり一覧

回	生徒	旋律	性格	回	生徒	旋律	性格
1	⑩	B	ニエ	26	③	D	ダ
2	①	A	ニエ	27	⑦	A	ダ
3	⑨	A	ニエ	28	④	D	ダ
4	②	B	ニエ	29	⑥	D	ダ
5	⑧	B	ニエ	30	⑤	B	ダ
6	③	B	ニエ	31	⑩	B	ダ
7	⑦	A	ニエ	32	①	C	ダ
8	④	A	ニエ	33	⑨	B	ダ
9	⑥	B	ニエ	34	②	D	ダ
10	⑤	B	ダニ	35	⑧	A	ダ
11	⑩	B	ダニ	36	③	D	ダ
12	①	D	ダ	37	⑦	B	ダ
13	⑨	A	ダ	38	④	B	ダ
14	②	C	ダ	39	⑥	D	ダ
15	⑧	A	ダ	40	⑤	C	ダ
16	③	D	ダ	41	⑩	C	ダ
17	⑦	A	ダ	42	①	A	ダ
18	④	D	ダ	43	⑨	B	ダ
19	⑥	B	ダ	44	②	C	ダニ
20	⑤	D	ダ	45	⑧	A	ダニ
21	⑩	D	ダ	46	③	B	ダニ
22	①	D	ダ	47	⑦	C	ニエ
23	⑨	B	ダ	48	④	A	ニエ
24	②	D	ダ	49	⑥	B	ミン
25	⑧	D	ダ	50	⑤	B	ミン

*ニエ：ニエン・ルー，ダニ：ダニエン・バルマ
ダ：ダ・ルー，ミン：ミンチェキ

表4 旋律の回数と割合

旋律	回数	割合 (%)
A	12	24
B	18	36
C	6	12
D	14	28

中央部において確認している旋律である。楽譜Dは、フレーズの後半にコレイ khorey といった無意味語が入るもので、これまでの調査の中では聞かれなかった旋律である。

これらの、旋律が歌われた回数及びその割合を表4に示した。多い順に、旋律B18回36%、旋律A12回24%、旋律D14回28%、旋律C6回12%となっている。ちなみに、大会後の審査集計中に行われた、生徒と審査員のゲーム・ツェリン、プルバ・ティンレイのやりとりでは、ティンレガン校の生徒⑧が旋律B、これに応えたゲーム・ツェリンが旋律A、ケルキ校の生徒⑤が旋律D、これに応えたプルバ・ティンレイが旋律Bとなっている。

3.8 評価

ファンモの成績は、各審査員の評価の合計点により競われる。では、何を審査されるのであろうか。表5は前稿（伊野他2015）におけるティンレガン校の審査表、表6は、今回のケルキ校のものである。前者の場合、「言葉の意味の深さ」「発音」「ダ・ルー/ニエン・ルーへの応え方」「自信」「創作」「行為と度胸」、後者の場合、「歌い方・表現の豊かさ」「応答のうまさ」「多様な旋律の使用」「即興性」「発音」の各項目が見られる。

は白熱を帯びてくる。ダ・ルーは40回目まで続く。40回目が終了するとチェアマンは、ダニエン・バルマを指示するが、ダ・ルーが続く。43回目の後、再びダニエン・バルマを指示、44回目からそれとなる。45回目が終わるとニエン・ルーが指示され、最後は、ミンチェキとなって、お互いの幸福を祈って終了する。

このように、全体は、まずニエン・ルーに始まり、相手へ挨拶し、仲良くなろうとする歌詞が歌われる。その後、ダ・ルーへと移行し、相互の喧嘩となる。これがメインの部分である。歌詞も相手への悪口や侮辱、脅迫といった内容の応酬となり、会場の聴衆も大いに沸く。

ラサの町で買った 長い刀
去年 一人殺しました
今年もその時間になりました

旋律は、上記4種のものが歌われた。これは言わば旋律型のようなもので、歌い手個人によって、あるいは、歌詞により変化が見られる。旋律Aはブータンで広く歌われているもので、過去の調査地であるパロ（伊野2012）、プナカ（伊野、黒田2014a）、トンサ（伊野他2014b）、サムテガン（伊野他2016）そしてメラ（伊野他2015a）のすべてで採取されている。また、榎藤（2015）の調査したラジオ放送においても確認されている。楽譜Bも同様に広く歌われているが、東部メラでは確認できていない。楽譜Cは、フレーズの後半にモーヤmo ya といった無意味語が入るもので、トンサ（伊野他2014b）、サムテガン（伊野他2016）といったブータン中

央部において確認している旋律である。楽譜Dは、フレーズの後半にコレイ khorey といった無意味語が入るもので、これまでの調査の中では聞かれなかった旋律である。

表5 ティンレガン校でのツァンモ大会 (2015年) 審査表 (一部)

name/class/ section of student 氏名/学年/ 組	meaningful of word 言葉の意味 の深さ	pronuncia tion 発音	melody 旋律	answer to dra/nyen ダ・ルー/ニエン・ ルーへの 応え方	confidence 自信	create new 創作	action and courageous 行為と度胸	total point 合計
	5	3	2	4	3	5	3	
a XA	3 3	2 2	1 1	3 3	1 2	2 2	2 2	29
b XA	2	1	1	2	1	2	1	10
c XB	3	1	1	2	2	3	3	15
d XB	4 4	3 3	2 2	4 4	3 3	5 4	3 3	47
e XC	3 3	2 1.5	1 2	3 2	2 1	3 3	2 2	30.5
f XC	3	2	2	3	2	3	2	17

表6 ケルキ校でのツァンモ大会 (2016年) 審査表 (一部) (黒田作成)

審査項目 生徒名	ラウ ンド	A. 歌い方・表 現の豊かさ	B. 応答のう まさ	C. 多様な旋 律の使用	D. 即興性	E. 発音	合計	備考
①女 (ケルキ)	1	12	10	6	6	7	40.5	
	2	13	10	6.5	7.5	7	44	
	3	13	11	6.5	7.5	7	45	
	4	13	11	6.5	7	7	44.5	
	5	13	11.5	7	7.5	7	46	
②男 (ケルキ)	1	12	11	6.5	7	7	43	
	2	12	11	7	7	7	44	
	3	13	11	7	7.5	6	45	44.5
	4	12	11	6	7.5	5	41.5	
	5	13	11	6.5	7	6	43.5	
③女 (ケルキ)	1	12	11	6.5	7	7	43	
	2	12	11	6	6.5	7	42.5	
	3	13	11	6.5	7	7	43.5	44.5
	4	13	11	6	7	7	44	
	5	12	11	6.5	7.5	7	44	
審査員の名前・サイン								

ここにツァンモによって培われ、期待される資質・能力を見ることが出来る。今回の審査項目については、チェアマンで王立舞踊団主任研究員のクンザン・ドルジや審査員でゾンカ教師のタシといった関係者が一同に会し、あらかじめ綿密な審議が行われている。この意味においては、審査項目を決定することを通して、学校教育におけるツァンモのあり方について共通理解があったと見るべきであろう。生徒が身に付ける力は、総じて以下のように考えられる。

- ・物怖じせずに、歌や身体を使い、豊かな表現力で相手に伝えようとする事。
- ・深く意味のある言葉を選択し、伝えること。
- ・ダ・ルーやニエン・ルーなど、適切なスタイルや内容で応えること。
- ・即興的に意味のある歌詞をつくり、節にのせて歌うこと。
- ・多様な旋律を用いること。
- ・ゾンカを理解し、正しい発音で歌うこと。

良いツァンモのやりとりには、一般的に日本の音楽授業で重視される「楽曲の表現の工夫」のみならず、

適切な歌詞と節を即座に選択し、時に即興も交えて、表情豊かに相手に伝える能力が要求される。ここでは音楽的な能力を一体的に学んでいるといえる。同時にゾンカによる詩の理解やそれを正しい発音で伝えることが必要とされる。ツァンモの詩文が6音節4行を基本としていることを鑑みれば、伝統的な韻律に従って言葉を当てはめることが不可欠となる。また、可能な限りたくさん歌詞を暗唱することも欠かせない。古くから伝えられてきた詩文の伝える意味は隠喩を伴い深い。生徒のこうした行為は、ゾンカの学習のみならずゾンカの詩文に潜んでいるブータン人の伝統的な自然観や宗教観

に基づいた自らの思考法を学び、それをコミュニケーションの方法として体得することを意味する。その過程では、ダ・ルーやニェン・ルーといった詩文の性格を見極め、状況に応じて判断し、相手との交流を深めていく。ツァンモは楽しい遊びであるが、同時にきわめて高度で知的な創造的行為でもある。こうしてツァンモは、ブータンの人々にとって、文化の思考法を獲得し、人としての生き方や人生観を学び、アイデンティティを形成する重要なツールとなっている。審査表の評価項目の意味するところ、最終的に目指すものはこうしたことにあるのではないだろうか。

ツァンモを歌った10人に対し、審査員4人が行なった審査の結果、学校対抗戦はケルキ校の勝利となった。ステージ上で教育大臣から賞状と賞金15,000ヌルタム(約25,000円)が手渡され、記念撮影が行われた。続いて2位として、ティンレガン校に賞状と賞金10,000ヌルタム(約16,667円)が手渡された。そして、ベストスピーカーにはケルキ校の⑤が選ばれ、賞状と賞金5,000ヌルタム(約8,333円)が手渡された。彼はツァンモを歌っている時、誰よりも身振り手振りが大きく表情豊かであった。また、歌詞もこれまでに聞かれたことのないオリジナリティを感じるものであった。特に20回目のダ・ルーの際は歌い終わると大きな歓声があり、うまく応えている様子が観察された。これらのことが高評価につながったものと考えられる。

Ja ja pa ta bom ru sa khorey
Shing che ta ri dap go sa khorey
Ngagey rochi che ru sa khorey
Ja key gili sung go sa khorey

ナイフの幅がどんなに広くても
大きい木は斧で切らなければならない
自分は何でも一番だと思って(吠えてる)犬
家の中のジャ・ケイ(食べ物)は猫が守っていますよ

その後、生徒1人1人の名前が呼ばれ、教育大臣から賞状が手渡された(図4)。ブータンでは、賞状や証明書が重要視されており、受験の時などにたくさん積めるほどよいとされている。また、こういった大会での賞金はピクニックなど生徒主体の行事に使用されるという。

4. 大会を巡る教師の取り組みと教育的な意味

4.1 教師の取り組み

ここでケルキ校にてツァンモ大会の中心となって奔走した教師ガワン・ナムゲルのインタビューをまとめておく。ガワンは、もともと僧侶であったが、その後民族舞踊団の踊り手となり、ブータンのみならず世界各地の公演に参加してきた。ケルキ校での彼の取り組みは、ブータンの学校教育におけるツァンモ及びツァンモ大会の位置づけを知る好資料となる。インタビュー会場は、ティンブーのレストラン、チベット・キッチン、日時は、2016年9月26日である。

ケルキ校の教師となって2年目である。それまでは、ブータン民族舞踊の踊り手だった。2014年10月に



図4 生徒に渡された賞状

ケルキ校よりオファーがあり、ティンブー市内で伝統的な踊りの大会があるということで指導を依頼された。その時の条件として、ティンブー 34校の中で、大会で1～3位を獲得したら常勤の先生として雇用することを約束された。生徒の指導を行い、結果は34校中3位となり、2015年2月にケルキ校の文化教育担当教員 Cultural Teacher となった。

採用後、学校教育の中で伝統文化教育があまりなされていない事に驚いた。踊りもジュンドラ Zhundra やベードラ Boedra²⁾をBGMにして踊る程度のものであった。これらは、本来歌が付いて踊られるもので、踊りだけではなく歌の学びも必要なものである。こうした課題は、校長とも相談し少しずつ克服していった。ブータンの学校教育におけるツァンモの実施状況は様々で、大会を開催しているところもあればそうでない学校もある。総じて大会をしていない学校も多く、生徒に聞いても興味が無いと言う。このままでは、ツァンモという名前だけが残ってしまうという危機感を抱いた。しかし、興味が無いという生徒でも、ツァンモの歌詞の意味内容を教えると面白がる。意味がわかると興味もわくということが分かった。それでツァンモもロゼもそれぞれ一回だけでも大会をしたいと思い、こうしたことに詳しい王立舞踊団のクンザン・ドルジの所へ相談にいった。しかし、彼は多忙だった。どうしたものかと悩んでいる時、故郷から知り合いの野菜売りのおばさんがきて「私たちは小さい頃牛の面倒をみながらツァンモをしたものだ。是非とも学校でやるといいよ」と励まされた。そう言われて、人に相談したりするより、自分で決めるべきだと思い、ツァンモやロゼを学校でやろうと決めた。

しかし、そう思っても大会開催には、審査員等にかかるお金が必要だった。それでスポンサーを募ろうと思い知り合いの旅行会社などを回って寄付を募った。ある程度集まったので、そのお金をもって校長先生の前に行き、ツァンモ・ロゼの大会をしたい、については、これだけの寄付金を集めた、と談判した。校長先生はしばらく無言だったが、やがて口を開き「今年の校内マラソン大会のための費用6万ヌルタムをツァンモ・ロゼ大会に使用しましょう」と言ってくれた。その時は涙がでた。しかし、マラソン大会が取りやめになったことで、体育の先生は怒ってしまい、2ヶ月間口をきいてくれなかった。

さて、大会は開催することになったが、最初は、どのようにしてやるかわからなかった。まず自分で古いツァンモを集めて書きとめ、ゾンカ（国語）の先生に配った。その先生が授業中に生徒に教えてくれた。ゾンカの先生は、それを宿題とし、生徒に覚えさせてくれた。しばらくするとゾンカの先生に「生徒がツァンモを覚えたから来て下さい」と声をかけられた。そこで、はじめてクラスの中でツァンモの大会をした。多くは、ダールーだった。その時、生徒がもっとおもしろいツァンモをつくり出した。また、ロゼもあった。いつもけんか腰になるような生徒が新しい歌詞をつくるのを見て感動した。同時に「これで大会は成功する」と確信した。

さて、夏休み前、クラス12には全員一人30のロゼを、クラス11には、全員一人30のツァンモを集めてくるように、そしてその30を覚えてくるように宿題を出した。夏休み後、生徒に歌ってもらった。忘れてたり勘違いをして覚えてきたりした生徒もいたが、大体一人15くらいは覚えることができた。少数であるが、できない生徒もいた。

その後は、各クラスに顔を出し、「皆さん、あなたたちは、ツァンモ、ロゼを覚えなくてはなりません」と言って回った。私がいくと生徒からは、「ロゼ、ツァンモが来たよ」と言われるようになった。クラスでは、前もって歌詞を書いた紙を見ながら歌う生徒もいたが、今は昔の教育と異なるので叱らず、「私と一緒にツァンモやロゼの大会をしましょう」と言い続けた。

その後、生徒は、自分から歌ったり、新しい歌を作ったりして、どんどん興味を持っていった。問題のある生徒や都会育ちでツァンモを知らなかった生徒でも、どんどん歌って遊ぶようになっていき、協力的な雰囲気生まれてきた。しかし、伝統文化の重要性について生徒の理解は不十分だったので、ある時、生徒をホールに集めて自分自身の話をした。最初に、「私は、教育を受けていないけれども世界中を巡ってきた」ということを話した。すると生徒は、「何をしに、どうして行けたの」と興味をもって聞き返した。「それは、私がブータンの踊りや楽器などを知っているから。私は僧侶をやめて伝統舞踊の舞踊家になりました。伝統文化のおかげなのです。文化を知っていれば私のような人にもチャンスがきます。だから伝統文化はとても大切です」と話すとき生徒は考え始めたようだ。こうして次第に生徒の理解が広まっていった。また、学校のほとんどの先生が協力的になっていった。

今回の大会が終了した後、生徒が賞金と賞状を持ってきて「ガワン先生のおかげです」といって校長先生

に渡した。校長先生は、「このお金の半分はみんなのピクニックに使いましょう。そして、もう半分は学校の為に使いましょう」と言ってくれた。

これからのことだが、学校での大会も大切だけれども、自分の故郷ティンレガンの方では、村と村との大会が無くなってきているので、自分の村で大会ができたらと思っている。

4.2 表彰と生徒への励まし

ガワンは、ツァンモ大会に向けて準備を進めている際に、教室で、とりわけこの活動に熱心に取り組んでいる生徒を数名見いだしている。その中の一人が、この大会でベストスピーカーに選ばれたケルキの⑤の男子である。ガワンによれば、彼はブータン中部（プナカ）の農家の出身で家は経済的にもかなり厳しい状況にあり、ケルキには国からの奨学金の支援を得て進学していた。小さいときから村にいてツァンモを歌った経験が豊富であり、都市部にあるこの私立学校に集まる多くの生徒とは異なる育ち方をしている。作られた歌、楽譜になった歌をそのまま歌唱する、という音楽活動ではなく、自らの思いを歌に託しながら、いくつかの旋律を選びつつ、その場にいる相手と掛け合う歌の文化のなかで育ってきた彼にとって、学校でのツァンモ大会は、ふだんの学校生活では認められなかった別の優れた点が生かされる場となったのである。学校行事で表彰を受け、友人からも教師からも認められることが彼自身の自己肯定感を高め、学校生活、そして、これからの人生に向けての一つの大きな自信になりつつある。誰よりも、この行事を企画したガワン自身が彼の受賞を喜んでいた。

5 考察

以上の内容について、最後に学校におけるツァンモ大会について整理をしつつ、成果と課題についてまとめる。

- ・ ツァンモ大会は、開会の儀式、来賓に対する歓迎の踊り、外部審査員の存在、賞金や賞状の伝達等、大規模な学校行事として開催されていた。学校外の文化継承者や研究者、教育関係者のネットワークにより実現している。ブータンでは、国技とされるアーチェリーの大会においても、互いのチームの応援団が、盛んに歌や踊りで声援を送る。また、見事に的を射当てた時には、チーム全員が勝利のダンスを行う。ある文化的行為は、他の行為や周囲の様々なモノやヒトを抱き込んで進行するのが常と言える。こうした文化的融合の装置がネットワーク形成を促進する機能をもっているのではないだろうか。今回の開催校が伝統的な私立校であったことも否めないが、伝統文化のツァンモを核とした行事の実施に際して、教育大臣、王立舞踊団主任研究員、伝統音楽に堪能な俳優が学校に参集し、放送局のカメラも入る中で、熱のこもった大会が実施されている。また、開始時に行われたマーチャンセレモニーをはじめ、前後には、生徒の伝統的な踊りも披露されている。ツァンモ大会の開催が、学校そのものを伝統文化の中に抱きこんでしまっている。
- ・ 審査項目は、歌い方・表現の豊かさ、応答のうまさ、多様な旋律の使用、即興性、発音などである。音楽的要素のみならず表現力や創造性、言語能力などが総合的に評価される。ツァンモは楽しい遊びであるが、同時にきわめて高度で知的な創造的行為でもある。ブータンの人々にとって、文化の思考法を獲得し、人としての生き方や人生観を学び、アイデンティティを形成する重要なツールとなっていると思われる。
- ・ ツァンモ大会の成功の背景には、伝統文化継承に対するブータンの危機感が存在する。また、一人の教師の強い熱意と校長のリーダーシップ、学校をあげた協力体制が、地域の文化を掘り起こし、生徒の身体に脈打っている文化的能力を引き出している。冒頭ケンザンや教師ガワンの言葉に象徴されるように、ツァンモは伝統文化を学び、身に付けるための重要な教材として認識されつつある。また、文化継承においては、地域や成員全体の動きに目が行きがちであるが、個人の動向が大きな影響を与えることをあらためて認識した。
- ・ 大会では、ツァンモのやりとりをリードするチェアマンの存在が重要であった。チェアマンは、単なる進行役ではなく、歌詞の意味内容をおもしろく説明したり、歌い手をけなしたりして掛け合いが盛り上がるように巧みなりードを行う。また、審査規準を説明しつつ、歌い手がその規準を達成するようアド

バイス役も務める。

チェアマンのような存在は、前調査のサムテガン校でも見ることができた。そこでは、生徒のツァンモのやりとりの中で二人の教師が入り込み、歌の内容に関してさかんにコメントをしていた（伊野 2016）。

当初私たちは、それが学校教育による意図的な方法だと思っていたが、必ずしもそうではないようである。クンザンの説明によれば、ツァンモは、もともと親戚や友人の集まりで遊ばれたもので、そこには、ツァンモをしている人を見ている聴衆がたくさんいて、その人たちが一種の批評家になって盛り上げていたという。つまり、下手なツァンモをしていられなければならないわけで、時に、歌い手と聴衆は交代した。こうした側面がチェアマンにはある。このように考えると、チェアマンの存在は、学校の大会に独特なものではなく、伝統的なツァンモ遊びを見ながら楽しんでいる聴衆の行為につながる存在といえる。これについてはさらなる調査をすすめた。

- ・ チェアマンを務めたクンザンは、王立舞踊団の主任研究員であるとともに、国語研究所 Dzongkha Language Institute の詩の教師 *tsom teacher* でもある。クンザンによれば、ブータンにおけるツァンモという言葉は、本来、若者が集い、輪になって、結ばれるべき相手を占って見つけるためのバラッド語りを意味していたという（Kunzan 2016:8-9）。おそらく、生活の場を同じくする人々の間で、言葉による定型詩の形式とその場に依って紡ぎだされる意味世界の膨大な蓄積が口頭で伝承されてきていた。それが、生活の変化に伴い、学校という近代的な制度にかつての共同体と類似した位置づけを見いだして流れ込んだのがツァンモ大会という学校行事であった、ということもできよう。このことは、事前の打ち合わせが行われていたとはいえ、2015年に参観したサムテガン・セントラル・スクールにおけるツァンモ大会におけるゾンカ語教師タシの進行と同校の教師が共通理解していた大会の性格と、今回のクンザンの進行の共通性からも推測される。野菜売りのおばさんに「私たちは小さい頃牛の面倒をみながらツァンモをしたものだ。是非とも学校でやるといいよ」と励まされたガワンの取り組みとも結びつく。
- ・ クンザンは、ツァンモ大会の冒頭で、生徒に向けて、「これから私たちは伝統文化について、行動を起こさなければなりません」と語っている。異なる地域の学校の生徒が全く初めて出会ったにもかかわらず、いくつかの旋律と多くのメタファーやシンボルを共有して、歌で掛け合い、それを参加者皆が共感し、囃すことができるような民俗文化の可能性について、ブータンでの考察が深まることが期待される。本研究は、JSPS 科研費 26301043 の助成を受けたものです。

【引用文献】

- 伊野義博 (2012) 「ブータン歌謡ツァンモー掛け合いと占いの諸相一」『民俗音楽研究』第37号、日本民俗音楽学会、pp.1-12.
- 伊野義博、黒田清子 (2014a) 「ブータンのツァンモ、掛け合いと占いの諸相一ブナカにおける調査から一」『民俗音楽研究』第39号、日本民俗音楽学会、pp.37-48.
- 伊野義博、尾見敦子、黒田清子、権藤敦子、山本幸正、Tshewang Tashi, Pema Wangchuk (2014b) 「ブータン歌謡ツァンモの実際一トンサ県ツァンカ村とタンシジ村の場合一」『新潟大学教育学部研究紀要』第7巻第1号、pp.81-99.
- 伊野義博、加藤富美子、黒田清子、権藤敦子、山本幸正、娜布其 (2014c) 「『掛け合い歌』の教育学Ⅰ」『音楽教育学』第44巻第2号、日本音楽教育学会、pp.90-94.
- 伊野義博、黒田清子、権藤敦子、Pema Wangchuk (2015a) 「ブータン歌謡カプシューの実際一タシガン・メラ村の場合一」『新潟大学教育学部研究紀要』第7巻第2号、pp.335-359.
- 伊野義博、黒田清子、権藤敦子、ペマ・ウォンチュク (2015b) 「ブータンのあそび歌 ツァンモとカプシュー一トンサとタシガンにおける調査から一」『民俗音楽研究』第40号、日本民俗音楽学会、pp.1-12.
- 伊野義博、黒田清子、加藤富美子、権藤敦子、山本幸正、ツェワン・タシ、ペマ・ウォンチュク (2016) 「ブータンの遊び歌ツァンモー学校教育における伝承の取り組み」『新潟大学教育学部研究紀要』第8巻第2号、pp.167-192.
- 黒田清子 (2012) 「ブータンの国民総幸福 (gross national happiness) と自文化観」『金城学院大学論集』社会

科学編第8巻第2号, pp.19-37.

黒田清子 (2014) 「ブータン文化の諸相—掛け合い歌ツァンモ (tsangmo) の歌詞からの考察—」『金城学院大学論集』人文科学編第11巻第1号, pp.193-220.

権藤敦子, 伊野義博, 黒田清子, Pema Wangchuk (2015) 「歌唱における学習過程の再考—ブータン歌謡ツァンモの調査をてがかりに—」『初等教育カリキュラム研究』第3号, 広島大学大学院教育学研究科初等カリキュラム開発講座, pp.23-35.

権藤敦子, 明道春菜, 伊野義博, 加藤富美子, 黒田清子, 永井民子, 山本幸正 (2016) 「歌唱における学習過程の再考 (2) —ブータンの掛け合いをてがかりにした実践開発—」『初等教育カリキュラム研究』第4号, 広島大学大学院教育学研究科初等カリキュラム開発講座, pp.15-27.

Kunzang Dorji (2016) "Bhutan is a country enriched with cultural heritage", *Bhutanese Treasure Tsangmo*, Ino Yoshihiro (ed.), Japan Society for Bhutanese Folk Music Studies, pp.7-9.

注

- 1) 主として詩的な言葉のやりとりであるロゼには、音楽的要素が少なく、ツァンモのような韻文の定型が定まっていない。ツァンモとともに遊ばれることが多い。ケルキ校では、11年生にツァンモ、12年生にロゼを指導している。
- 2) ブータンの音楽様式を大別する用語で、ジュンドラは、自由リズムをもつ伝統的な歌で、歌詞は高僧が作成し、内容は、仏教的で瞑想的なもの。バードラは拍節構造をもつチベットの影響を受けた歌。zhungはmainを、draはsoundあるいはmelodyを、boeはTibetを意味する。